

仙台市図書館振興計画 2022 中間見直しについて

1 中間見直しの概要

令和4年3月策定の「仙台市図書館振興計画 2022」は、本計画と関連の深い「仙台市子ども読書活動推進計画 2024（令和6年度～令和10年度）」との整合を図るため、計画期間を令和4年度から令和10年度までの7年間とし、中間年度にあたる令和7年度に見直しを図ることとしていることから、このたび、上位計画である「仙台市教育構想 2021」の進捗や次期構想策定の動向等を踏まえ、中間見直しを行う。

2 中間見直しの基本的な方向性

現行計画において根幹をなす考え方であることから、基本理念・策定に向けた方針（「目指す図書館像」、「図書館像実現に向けた4つの方向性」）は踏襲することとする。令和4年度から令和6年度までの3年間の取組みの進捗状況の評価等により把握した課題や市民のニーズなどを踏まえ、令和8年度から令和10年度までの3年間に仙台市図書館として推進すべき取組みについて、現行計画の骨子に沿ってまとめ直す。

また、現行計画策定後に策定や更新・改正がなされた法律や関連計画などの修正を行うとともに、現在の社会情勢等に合った内容にするための所要の見直しを行う。

3 これまでの経過

中間見直しに向け、仙台市図書館協議会において、下記のとおり協議した。

令和7年5月 中間見直しの方向性について協議

令和7年8月 中間見直し（素案）について協議

4 主要事業の掲載

中間評価で把握した今後の課題と、昨年実施した各種アンケート調査等の結果を踏まえ、仙台市図書館としての取組みを再点検し、主に以下の取組みを重点的に推進する。

- 【方向性1】人生100年時代を踏まえた市民の多様な学びの支援
 - ・各種データベースの利用促進
 - ・郷土資料の電子化と「デジタルライブラリー」の充実
- 【方向性2】乳幼児と保護者のふれあい事業
 - ・絵本を通じた乳児と保護者のふれあい事業の実施
 - ・障害のあるこどもが読書の楽しさを体験できる環境の整備
 - ・学校図書館運営への支援

- 【方向性3】障害のある方や外国人の方など多様なニーズに対応したサービス
 - ・分室、サービススポット等の図書館サービスのあり方の検討
 - ・オーディオブックや音楽映像サービスの導入など電子図書館コンテンツ拡充の検討
 - ・読書バリアフリーの観点に立った図書館サービスの推進
 - ・外国語資料の収集やイベントの実施、多言語による情報発信の充実
- 【方向性4】社会のDX化を踏まえた図書館システムの刷新
 - ・蔵書構成の維持のための整理、各館分担収集・保存のあり方の見直し
 - ・視聴覚資料のあり方の検討と資料構成の見直し
 - ・施設の大規模改修による長期休館を見据えた資料活用方法の検討
 - ・新図書館システムの導入による利用者の利便性の向上

5 今後のスケジュール（予定）

令和7年 11月20日 仙台市図書館協議会（中間案）
12月15日 常任委員会（中間案）
12月22日 定例教育委員会（中間案）
12月下旬 パブリックコメント実施（～令和8年1月下旬）

令和8年 2月 仙台市図書館協議会（最終案）
3月 定例教育委員会（付議）